

展
開

○ インターネットが広がる社会での問題点について、各班が担当の資料（教科書、資料集）をもとに調べる。

- 資料①「インターネットの利用者が不安に感じていること」
- 資料②「情報を受け取り、発信するわたしたち」
- 資料③「インターネットで起きた問題について、警察が受けた相談の割合」
(2013年 警察庁)
- 資料④「情報による人々へのえいきょう」
- 資料⑤「個人情報の流出、情報システムの障害による混乱」
- 資料⑥「みんなが情報を使いこなせるように」

○ グループで問題点について共有する。
○ クラスで問題点について共有し、インターネットを活用すると便利な点もたくさんあるが、様々な問題点があることをとらえる。



※ 児童の発表より

● 一人ひとりが担当の資料から問題点についてノートにまとめるようにする。(グループごとに調べる資料を分担する。)



・資料からインターネットの利用に関する問題点について読み取ることができているか。

● 資料をもとに問題点についてまとめるようにする。
● 様々な観点からインターネットが広がる社会での問題点に気付くようにする。



1班

(資料1) インターネットの利用者が不安に感じていること

- ・悪口やきずつく言葉を言ってしまう。
- ・相手のことがわからない。
- ・情報が多いので、何が本当のことかわからない。
- ・写真や文章が勝手に他の人に使われてしまう。
- ・迷惑メールがくる。

2班

(資料2) 情報を発信するわたしたち

- ・ブログなどで勝手に個人情報をみられる。
- ・ブログとかで日常の生活をみられる。
- ・権利が守られていないことがある。

3班

(資料3) インターネットで起きた問題について警察が受けた相談の割合

- ・警察が相談を受けた件数が1年に84863件
- ・インターネットでの品物の売り買いでだまされている。
- ・迷惑メールが多い。
- ・インターネットで悪口をかかれたり傷つけられたりする。
- ・インターネットを通して、パソコンがこわされたり、パソコンの中の情報が勝手に利用されたりする。
- ・のせてはいけない情報や悪い影響をあたえる情報がある。

4班

(資料4) 情報による人々へのえいきょう

- ・間違った情報が流された。
- ・生産者や消費者が混乱した。



5班


(資料5) 個人情報の流出、情報システムの障害による混乱

- ・コンピューターウイルスに感染して、個人情報がもれる。
- ・コンピューターウイルスに感染すると、問題が増えてコンピューターが機能しなくなる。
- ・個人情報を他人が悪用する。
- ・システムが故障して、機能しなくなったとき、電車などが止まってしまう。
- ・情報システムに頼りすぎると、情報システムが使えなくなると、社会が混乱する。
- ・本当の情報が見えなくなる。

6班

(資料6) みんなが情報を使いこなせるように

- ・インターネットを自宅につないでいない人がいる。
- ・インターネットを使えない人のくらしが不便になる。

展 開	<p>○ 情報を受け取る側と情報を送る側で大切にしたいことについてノートにまとめ、グループで話し合う。</p> <p>○ クラスで考えを交流する。</p>	<p>● インターネットが広がる社会での問題点をもとに、情報を受け取る側と情報を送る側で大切なことについて、それぞれの視点から考えるようにする。</p>	<p>・情報を受け取る側と情報を送る側、それぞれの立場から大切にしなければいけないことについて考えることができたか。</p>
	<p>※ 児童の発表より</p>		
	<p>受け取る側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・へんなメールがきたら、大人の人に言う。 ・正しい情報か確かめる。 ・知らない人に返事をしない。 	<p>送る側</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確実なことを送る。 ・人の生活等の個人情報を送らない。 ・いやなことがあっても悪口をインターネットで書かない。 ・送る相手をきちんと確かめる。 	
ま と め	<p>○ 自分が情報ルールとして守りたいことについて考える。</p> <p>「自分が情報ルールとして守りたいことは、～です。 なぜなら、～だからです。」</p>	<p>● 情報社会の中で、様々な情報手段を上手に活用するように助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当の情報か確かめる。 ウイルスにかかるかもしれないから。 ・個人情報を書かないようにする。 犯罪にまきこまれるかもしれないから。 ・変なことを送らない。 受け取る側を傷つけるから。 ・相手の悪口を書かない。 相手がいやな思いをするから。 	<p>・自分が大切にしたい情報ルールを今後の生活に生かそうとしているか。</p>

【板書】



★ 本小単元「情報を生かすわたしたち」は、情報社会の中で、インターネットの特性をふまえ、どのように情報を取り扱えばよいのかについて考える。

★ 自分たちは、情報の「送る側」「受け取る側」の両方になりえるのだという意識をもち、それぞれの立場で大切にしたいことについて考える。さらに、自分の問題として情報ルールを考え、クラスで交流する。